

JR連合 政策News

第247号

2013年12月2日

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」第9回総会を開催

4名の国会議員が新たに加入し54名体制に

安全の確立、高速道路料金への取り組み等を中心とした活動方針を確認

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」は11月28日、都内で第9回総会を開催した。総会には、民主党海江田代表をはじめ、衆参30名の国会議員、秘書、地方議員、JR連合執行部、単組役員ら約100名が出席し、新年度の活動方針と役員選出について確認した。会長・高木義明衆議院議員（再、長崎1区）、副会長・榛葉賀津也参議院議員（再、静岡県）、事務局長・三日月大造衆議院議員（再、滋賀3区）、事務局次長・小川淳也衆議院議員（再、香川1区）の役員を選出するとともに、新たに4人の議員加入を確認し、議員フォーラムは総勢54名（衆議院28名、参議院26名）体制となった。



議員フォーラムを代表し高木会長は「交通政策基本法が可決、成立した。交通機関間を有機的に結びつけ、経済・社会効率的で持続可能な交通体系の構築に向けて、21世紀の鉄道を考える議員フォーラム所属議員が一丸となって取り組みを進めたい」と挨拶した。

続いて、JR連合を代表して松岡会長は、交通政策基本法の成立に際して、この間の議員各位の取り組みに敬意を表したうえで、「交通弱者の立場に立った生活環境を提供するためにも、総合交通体系の確立は必要不可欠であり、持続可能な交通体系の維持を図ることが求められている。その裏付けとして法律が必要であった。成立はまさにJR連合をはじめとして交通運輸業に従事する労働者にとっての悲願である」とあいさつした。

議事では、4名の議員の加入を決定したうえで、JR連合の政策、組織課題などについて提起し、議員フォーラムと連携を強化し要求実現にむけ活動を進める方針を確認した。

また、JR北海道問題についての現況報告と今後の取り組み方針を意思統一するとともに総合交通政策の観点に基づいた高速道路料金に関わる特別決議を採択した。

JR連合は、「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」との連携を強化し、喫緊の重要課題が山積する政策や組織の要求実現にむけて、さらに活動を強化していく方針である。

【第9回「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」総会概要】

1. 日 時 2013年11月28日(木) 17:30より

2. 会 場 東京都内「都市センターホテル」

3. 出席者

(1) 国会議員

[衆議院] 高木義明議員(会長)、三日月大造議員(事務局長)、小川淳也議員(事務局次長)、岸本周平議員(幹事)、海江田万里議員(民主党代表)、細野豪志議員、古川元久議員、近藤昭一議員、赤松広隆議員、中川正春議員、辻元清美議員、津村啓介議員、柚木道義議員、玉木雄一郎議員、野間健議員(15名)

[参議院] 榛葉賀津也議員(副会長)、尾立源幸議員(幹事)、広田一議員(幹事)、小川勝也議員、小西洋之議員、藤本祐司議員、林久美子議員、前川清成議員、江田五月議員、柳田稔議員、森本真治議員、大久保勉議員、野田国義議員、柳澤光美議員、浜野喜史議員(15名)

※代理出席(議員秘書) 15名

(2) JR連合・単組代表・地方議員 50名

4. 高木義明会長あいさつ

交通政策基本法が可決、成立した。交通機関間を有機的に結びつけ、経済・社会効率的で持続可能な交通体系の構築に向けて、21世紀の鉄道を考える議員フォーラム所属議員が一丸となって取り組みを進めたい。

JR北海道問題については、衆参の国土交通委員会において、野島社長を参考人として招致し集中審議が行われている。真の安全確立にむけて徹底的な議論が必要である。

高速道路料金問題をはじめとする喫緊の政策課題への対応をはじめ、JR連合運動の推進に向けて21世紀の鉄道を考える議員フォーラム所属議員が一丸となって支援をして参りたい。



5. JR連合松岡会長あいさつ

JR連合を取り巻く環境が厳しくなっている中、現在、三島・貨物経営安定化、貨物モーダルシフト、そして鉄道特性活性化の3つのプロジェクトを立ち上げ、議員懇談会議員や有識者、そして関係単組を交え、議論を進めている。6月には今後の高速道路料金問題で太田国土交通大臣への要請行動を行ってきた。鉄道の持続的発展を実現すべく、引き続きしっかりと取り組んでいきたい。

「交通政策基本法」が可決、成立した。私たち労働者の視点から強く求め



ていた内容も付帯決議として盛り込まれた。総合的な交通体系の維持・向上にむけて地方議員団と一体となった取り組みが必要である。

J R北海道で多発している事故、トラブルに関して、関係各位にご迷惑をおかけしている。現在、国会においては衆参とも野島社長を参考人として招致し、集中審議が行われている。労働組合として、安全最優先の風通しのよい企業風土を作り上げるための取り組みを行っていききたい。

最後に、J R連合の政策課題、組織課題等の多くの諸課題解決に向け、引き続き議員フォーラムの皆様のご理解と協力をお願いする。

6. 新規加入議員の確認について

(1) J R西労組推薦（1名）

衆/参	氏名	年齢	回数	政党	選挙区	記事
参	森本真治	40	1	民主党	広島県	

(2) J R九州労組推薦（1名）

衆/参	氏名	年齢	回数	政党	選挙区	記事
参	野田国義	55	1	民主党	福岡県	

(3) J R連合推薦（2名）

衆/参	氏名	年齢	回数	政党	選挙区	記事
参	石上俊雄	51	1	民主党	全国比例	電機連合
参	浜野喜史	52	1	民主党	全国比例	電力総連

7. 新年度の活動方針（案）について

- (1) 安全確立の取り組み
- (2) 政策課題の実現にむけて
 - ① J R連合の政策の基本方針
 - 1) 最重要課題である安全確立への取り組み
 - 2) J Rの持続的発展にむけて～国鉄改革の真の完遂～
 - ② 緊急課題への対応
 - 1) 鉄道防災、自然災害等で被災した鉄道復旧への対応
 - 2) 高速道路料金問題への対応について
 - 3) 中長期政策プロジェクトの取り組み
- (3) 民主化闘争の完遂にむけて

8. 役員の選出

【「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」役員】

役 職	氏 名	年齢	衆/参	選挙区
会 長	高 木 義 明	67	衆	長崎1区
副会長	榛 葉 賀津也	46	参	静岡県
事務局長	三日月 大 造	42	衆	滋賀3区
事務局次長	小 川 淳 也	42	衆	香川1区
幹 事	岸 本 周 平	57	衆	和歌山1区
〃	長 浜 博 行	55	参	千葉県
〃	尾 立 源 幸	50	参	大阪府
〃	広 田 一	45	参	高知県

特別顧問	岡 田 克 也	60	衆	三重3区
	前 原 誠 司	51	衆	京都2区
	野 田 佳 彦	56	衆	千葉4区

※ 2013年11月28日 第9回総会選出

以 上